

# 情報連絡員報告総括表(平成29年12月分)

三重県中小企業団体中央会  
連絡員総数 40名  
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況									
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化							
製 造 業	食 料 品	1	3			3	1	2	2			4			3	1		3	1		4			3	1		3	1						
	織 維 工 業		3			3			3			3			3			3			3			3			3							
	木 材 ・ 木 製 品		1			1			1				1		1			1				1		1				1						
	紙 ・ 紙 加 工 品	2				2		1	1			1	1		2			2		1		1		2		1	1							
	印 刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品	1		2		3			3			3			3			3		1	1	1		3			3							
	鉄 鋼 ・ 金 属	1				1			1			1		1				1		1			1			1								
	一 般 機 器	2	1			2	1		3			3		1	1	1		3		1	2		1	1	1	1	1	1						
	電 気 機 器	1				1			1			1		1				1		1			1			1								
輸 送 機 器	1				1			1			1			1			1		1			1			1									
そ の 他																																		
小 計	9	9	2		18	2	3	17			18	2	3	15	2	1	18	1	6	11	3	4	14	2	5	12	3							
非 製 造 業	卸 売 業	1		1	1		1		1	1		2		1		1		2		X				2			1	1						
	小 売 業	3	2	1	1	4	1	3	3			6		1	3	2		4	2					5	1		3	3						
	商 店 街		1			1			1			1			1			1						1			1			1				
	サ ー ビ ス 業	1	1	3	X			1	4			5		1	2	2		3	2					1	4		1	2	2					
	建 設 業	2	2					1	3			4		1	3		1	3						3			3	1		1	3			
	運 輸 業	1						1				1		1			1							1			1			1			1	
	そ の 他		1						1			1			1			1						1			1			1			1	
小 計	8	7	5	2				5	2	6	13	1	1	19		5	10	5	1	14	5	1	17	2	3	11	6							
合 計	17	16	7	2				23	4	9	30	1	1	37	2	8	25	7	2	32	6	6	11	3	5	31	4	8	23	9				

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成28年12月～平成29年12月)

三重県中小企業団体中央会

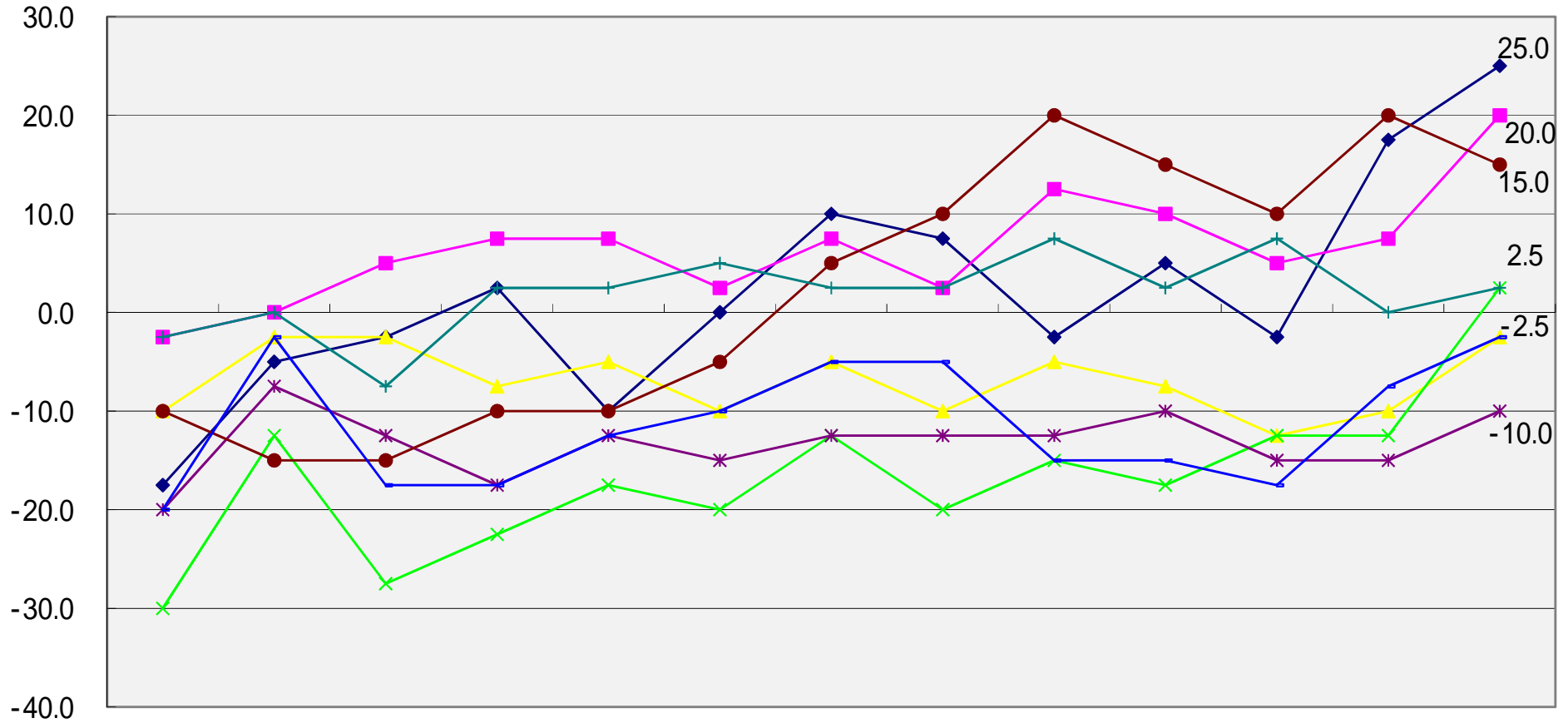
連絡員総数 40名

	28/12月	29/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	増減
売上高	-17.5	-5.0	-2.5	2.5	-10.0	0.0	10.0	7.5	-2.5	5.0	-2.5	17.5	25.0	7.5
販売価格	-2.5	0.0	5.0	7.5	7.5	2.5	7.5	2.5	12.5	10.0	5.0	7.5	20.0	12.5
取引条件	-10.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	-10.0	-5.0	-10.0	-5.0	-7.5	-12.5	-10.0	-2.5	7.5
収益状況	-30.0	-12.5	-27.5	-22.5	-17.5	-20.0	-12.5	-20.0	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	2.5	15.0
資金繰り	-20.0	-7.5	-12.5	-17.5	-12.5	-15.0	-12.5	-12.5	-12.5	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	5.0
設備操業度	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	-10.0	-5.0	5.0	10.0	20.0	15.0	10.0	20.0	15.0	-5.0
雇用人員	-2.5	0.0	-7.5	2.5	2.5	5.0	2.5	2.5	7.5	2.5	7.5	0.0	2.5	2.5
業界景況	-20.0	-2.5	-17.5	-17.5	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-15.0	-15.0	-17.5	-7.5	-2.5	5.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移

28/12月 29/1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



◆ 売上高  
 ■ 販売価格  
 ▲ 取引条件  
 × 収益状況  
 ✱ 資金繰り  
 ● 設備操業度  
 + 雇用人員  
 — 業界景況

情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成29年12月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	浅漬の原材料である白菜、大根等の価格が高騰しており、製造原価を押し上げている。平成29年度における漬物類の消費動向は、「よく購入する漬物」として、①キムチ類、②白菜等の浅漬類、③たくあん類、④梅干、⑤みそ漬の順となっている。漬物類を購入する際に一番気にしている事としては、①塩分、②賞味期限、③主な原料産地となっている。その他の意見として、①小パックに少しずつ色々な種類の漬物を詰めてほしい。②地場野菜の使用にこだわってほしい。③添加物の少ないのが良いなどの要望がある。
		醤油味噌	相変わらず、人手不足感があり、忙しい。しかし、業況は、決して良くはない。醤油業界では、密封容器製品や輸出増が下支えしたが、出荷量は、前年を下回る見込みである。しかし、しょうゆ加工品類は、着実に伸びている。HACCP対応が始まるようとしており、当業界では、1月から研修会が始まるようとしている。当業界での新たなJAS制度にどう対応するかを検討が始まった。
		豆腐	原材料の大豆は、先月同様、昨年同時期と比べ安値である。
		製麺	年末年始、伊勢神宮の参拝客も前年並みに大勢の方々に来訪いただき、伊勢うどんの売上も順調に推移している。伊勢うどんに関しては、今年も様々なイベントに参加し、盛り上げていきたい。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	11月と同様、寒い日が続き、冬物商品、食品向けの段ボールケースが昨年を大きく上回る出荷となった。一部、12月より段ボールシートの値上げを承諾せざるを得ない仕入状況となった。本格的な値上げは年越しになる見込みである。
		古紙	取扱い重量は、対前年比マイナス傾向のところと前年並みになったところがある。前年比：段ボール・約98±5%位、新聞、チラシ・約89±7%位、雑誌、雑紙、その他・合わせて約92±7%位である。段ボール箱は軽量化しつつも家庭向け・コンビニ向けの箱流通量が増加しており、地域や取引先によって前年並みに発生している。新聞は、発行部数、本誌ページ、夕刊の減少や広告などのチラシ等の減少と古紙の持ち去りや新聞店回収・古紙の無料排出所などの要因により、集荷が増減している。雑誌・雑紙の集荷は、雑誌類は大幅に減少したが、機密書類や雑紙の集荷が増えて前年並みのところもある。取引先である製紙会社は、製品である原紙輸出も含め、フル操業のようである。中国の公害環境問題に端を発した再生原料の輸入ライセンスの更新規制により、日本の古紙も中国に輸出できなくなっているようである。
	印刷	印刷	昨年同様、年末年始のチラシ印刷以外の需要が伸びない。年度末に向けての入札も未だ厳しい業況が続いている。
	窯業・土石製品	伊賀焼	今年の冬は、12月早々に早くも寒波が来たように例年より寒さが厳しく、その分、来館者も減少した。伊賀焼伝統産業会館、伊賀・信楽古陶館ともに入館者数、売上とも大きく減少した。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は、11月と同様好調さは、堅持されている。自動車関連は、円安傾向が続き、国内での部品生産、海外での組立の増産傾向が続いている。半導体関連部品は、11月と同様にかかりの伸びがみられた。IoT及びAIの普及や自動運転システムの普及も影響し、1月以降もかなりの生産量となる見込みである。その他の製品にもばらつきがあるものの、好調である。
	一般機器	四日市	北勢地区の課題であった「東芝」問題が一段落して税収の心配が解決し、四日市市も一安心である。大企業は高収益を喜んでいるようだが、一方でそれを支える中小企業は、利益は少なく、苦勞しているのが実情である。
		伊勢	自動車や産業用機械関連は総じて好調であり、売上損益は前年比以上の実績が期待できるが、増産に対応するための人手不足感が続いているため、残業での対応を余儀なくされている。一方で、長時間労働に対する世間の目は厳しくなっており、三六協定の見直しや期間限定の好条件募集など今まで経験したことのない方法で、人員の募集や確保に努めなければならない。
	電気機器	鳥羽	新たな設備投資も始まり、受発注ともに好調である。
	輸送機器	鈴鹿	9月以降は、ずっと繁忙な状態が続いており、慢性的な人手不足である。年末年始休暇の間も数日間稼働しなければ納期に間に合わない状況である。
	小売業	青果	野菜：前半、レタス、キャベツ、日の菜、ホーレン草などの葉物は、全体的に例年より2割ほど入荷が少なく、生育遅れのため高値であった。一方で豊作のジャガイモ・サツマイモ・里いもなどは安定している。後半、正月に向け、需要が高まる中、高値で推移している。寒さが続き、雨が少ないため生育が遅く、品薄の回復が読めない。レンコン・ゴボウは例年並みの価格である。果物：みかんは不作で3割ほど高い。リンゴも大玉が高値である。イチゴも入荷が例年より少ない。また、イチゴは冷え込みで色付きが遅れ、例年より2割ほど高く、今年はクリスマスが過ぎても、高値が続くようである。年末で増々需要が多くなるみかんは、高値が続き、一方で干柿は入荷が増えて価格も安定している。
自転車		先月、多少の動きが見られた電動アシスト自転車の売上は、気温の低下とともに下降状態となった。2018年通学車モデルが出荷され、2~3千円の値上げとなっている。ボーナス時期に合わせ、メーカー、各ショップとも歳末謝恩キャンペーンや早期通学車対策を始めた店もあり、一般車の売上と通学車の予約が少しあったとの報告が届いている。しかし、ひとつのメーカーが通学車を予約限定生産としたため、商品がもう一方のメーカーに偏り、一部の商品が入荷困難な状況となり、店に展示できないのが現状である。	

非製造業	小売業	電器	12月は、本年最後の展示会やセールを個々の店舗で実施した。来店客数の減少等の課題はあるものの、リフォーム関連商品への関心を高めた。また、LED照明器具販売キャンペーンの推進や暖房器具としてのエアコンの推奨、更には4K時代対応のTVの販売を進めた。一方、「水銀に関する水俣条約」の締結を受け、10月1日から水銀廃棄物（蛍光灯や乾電池等）の処理について、新たな措置が必要となり、組合員としては、難しい対応が迫られている。
		石油	12月度に入り、景気状況が幾分回復に向かう動きが見られる中、燃料油販売数量が前年対比3%前後の増販であり、収益面については、原油価格の上昇と円安により、販売価格が値上げ傾向になった。そのような中、年末に車での帰省が多く、車両燃料販売が増加したことと寒さの影響による暖房用灯油の増販によって収益を上げることが出来た。原油価格の状況は、11月末のOPEC総会で減産継続が合意に達し、12月も60ドル台の状況であった。
		スポーツ	今年の景況感は、あまり大きな変化はなく、一年を終えたが、全国高等学校総合体育大会の前年ということで、それに伴うビジネスが全県であったようである。（津・サオリーナの備品・県営競技場の備品等）来年は、いよいよ本番であり、ビジネスを全員で行い、いい年にしたい。
	商店街	熊野	歳末の朝市イベントは、クリスマスイベント開催という事もあり、地元有名店のケーキ限定販売などクリスマスを意識したイベントを併催した。また、1月開催予定の恒例イベントである「さんま祭り」は、さんま自体が水揚げされておらず、他地域産のさんまを加工した丸干しでの開催を検討する方向で進められている。
	サービス業	旅館	東北、北陸は、寒波で大変であったようなので、暖かく好天に恵まれた太平洋側に客足は流れるものと予測していたが、結果的には、昨年を少し下回る程度の業況であった。好調な大企業の業績と大都市圏の景気が早く地方へ波及することを願っている。
		警備	12月度は、例年通り、年末のため、工事の受注増加、スーパー等のイベント警備の受注増加で多忙となった。
	建設業	内装工事業	9月以降減少していた売上等は12月については、少しながら対前年比ベースで増加となった。年明け3月までは年度末の流れで前年並みに推移すると思われる。
		水道工事業（四日市）	今月は、特に大きな動きは見られなかった。ただ、これから年度末にかけては、仕事量の増加が見込まれる。
	運輸業	トラック	輸送量の増加から、取引環境に改善がみられ、業況に若干の好転が感じられた。

#### 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	
食料品	製麺	また、HACCPの情報等があれば情報提供願いたい。
一般機器	四日市	人材確保、後継者不足に課題を抱えている中小企業の自主廃業が再び増加している。
小売業	スポーツ	どうしても県費で揃える備品は入札になる。入札準備に参加した組合員が落札できるとは限らないが、組合活動に参加しない組合員が考えられない薄利で落札し、組合員が口論になったこともあった。
サービス業	旅館	インバウンド対策：中華圏の国では、春節の休暇を利用して多くの人が海外旅行に出る。岐阜県の一部では、すでに予約が取れないとも聞いている。FIT（個人旅行者）の顧客には、今からでも遅くはないので、間際対策を立案する必要がある。